

# 円陣～エンジン～



令和元年 10月 29日

根獅子小 校内研修通信 No11

文責 松田 優子

先日は、5・6年生の研究授業及び授業研究会、大変お疲れさまでした。特に井上先生には、指導案作成や事前の準備など本当にありがとうございました。感想の中に、「先生のもっている雰囲気や子どもたちへの接し方がよく『居場所感の保障』につながっていた。自由な発想や『いってもいいかな』と言える安心して学べる空間だと思った。」とありましたが、井上先生独特の温かみのある学級経営で私自身もとても勉強になりました。また、今年度初めての複式授業ということで、学びのたくさんある授業研究会となりました。授業研究会を指導案拡大法とKJ法で行いましたが、皆が考えや思いをたくさん伝えることができましたし、その中で課題も見えてきたように感じます。次の3・4年生の研究授業でもこの方法で進めていけたらと思います。

さて、今週の木曜日は3・4年生濱口先生によります算数科の授業研究指導案検討になっています。5・6年生の研究授業を受けて、大きく3つの課題が上がりましたので、先生方にご意見をいただいています。

## ①導入の仕方・題意のつかませ方

- ・導入は、**両方に関われたら**と感じた。(それ以後をガイドに任せると考えると)
- ・前時までの学習内容が明確に分かるような**掲示が必要だ**と思います。**前時と本時の違い**(題意をつかませる時に)が分かれば、めあてもきちんと立てられると思います。またずらしもできると思います。
- ・その**教材を学ぶ必然性**を子どもたちにどうつかませるか、導入の大切さを改めて感じました。**ここでの子どもの意欲が授業全体の学ぶ意欲につながる**と思います。

## ②複式授業のこと(ガイドを鍛える・ずらし)

- ・**全児童がガイド役**をできるように鍛えておかないといけません。**低・中学年からの積み重ねが大切だ**と思います。
- ・事前にガイドと教師との**打合せが必ずいる**と思います。**発達段階に応じた指導が必要**であると思います。

## ③学び合いの活性化

- ・教科書の活用の仕方・・・**見せないで学び合いをする場合と参考にして学び合いをする場合**
- ・学び合い活動は昨年以上にできていると思います。引き続き、どの教科でも**学び合い活動**を取り入れていてほしいです。
- ・あまり型にこだわらず**自由な雰囲気の中で自由に言い合えることが大切だ**と書いてあった。(授業改善8つのアクション)

今回の指導案検討では、これらのことも考えながら、協議を進めていければと思います。よろしく申し上げます…。